



発行：大野北地区社会福祉協議会  
〒252-0233 相模原市中央区  
鹿沼台 1-10-20  
(大野北まちづくりセンター内)  
電話：042-861-4512

## 令和2年度 大野北地区社会福祉協議会 事業計画予算

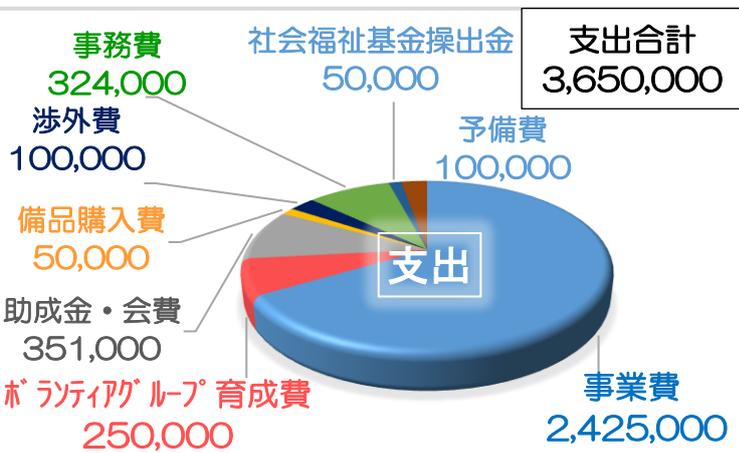
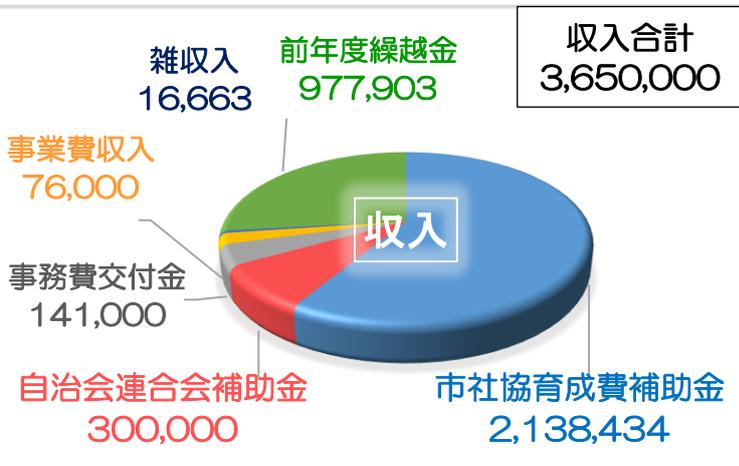
令和2年度の大野北地区社会福祉協議会の予算は、理事総数107名による書面議決により決定されました。

あわせて事業計画も策定され、一人ひとりが生きがいを持って自立した生活が送れるように各種団体等と協働活動のもと、地域に根ざした「まちづくり」を積極的に進めてまいります。

予算の主な内容は、収入が相模原市社協育成費補助金と自治会連合会補助金が大きく、支出は事業費と各ボランティアグループへの育成費が大半を占めております。

しかし、コロナウィルス禍の中で、各種行事や活動も計画の変更を余儀なくされております。今年度中の行事の開催等につきましてはそれぞれの行事のご案内でご確認ください。

予算は以下のような活動に使用してまいります。



## ～誰もが心豊かに、安心して暮らせるまちづくり～

に向けた大野北地区社会福祉協議会の取り組み

### ◎つなげる活動

- 福祉コミュニティ形成事業
  - ・はやぶさカフェ
  - ・マップづくり



### ◎まなぶ活動

- ・ボランティア講座
- ・福祉講演会
- ・中学生ボランティアスクール



### ◎ふれあう活動

- ・あつまれおやこ
- ・ふれあいフェスタ



### ◎見まもる活動

- ・思い愛ネットワーク

### ◎ささえあう活動

- ・地区ボランティアグループ支援

### ◎知らせる活動

- ・銀河まつりへの参加
- ・公民館まつりへの参加
- ・広報紙の発行



# 「手作りマスクを子どもたちへ」



～ボランティアが紡ぐつながり～



それぞれの工程ごとに作業しました。



山口会長がマスクをお渡し、お礼に子どもたちが作製した、ちぎり絵をいただきました！



マスクは袋に入れメッセージをのせました。



マスクがなかなか手に入らない時期がありましたが、マスクはみんな同じ大きさではなかったのです。やはり体や顔の大きさに合わせたマスクが必要なことは子どもにマスクをつける必要ができて初めて気がついたのではないのでしょうか。「子ども用の小さめマスクが手に入りづらいので困っている・・・」そんなお話を生活支援コーディネーター※が聞いたことをきっかけに、地区社協では、ボランティアによる子ども・児童向け手作りのマスクの作製に取り組むこととしました。マスクの大きさは小さめと普通サイズの2種類を用意することにしました。

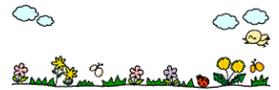
ボランティアさんは38名（個人ボランティア、ボランティアグループ、地域活動支援センター第3けやきのみなさん）の方々が参加くださり、いろいろな柄の布の裁断から始まり、縫製、耳ゴム通し、アイロンがけ、消毒などを分担し、自宅をはじめ各自それぞれの場所で、密にならないように、作業をしました。

その結果、964枚のマスクを7月から8月にかけて、お声がけした中で要望のありました保育園・認定こども園と神奈川県立相模原中央支援学校の子どもさんや児童にお届けすることが出来ました。

新型コロナウイルス禍の中で、なにか人のお役に立ちたいというみなさんの気持ちの表れを、感じさせてくれるひとコマでした。

## マスクお渡し先

- ・認定こども園ひかりキッズ
- ・YMCA オベリン保育園
- ・愛の園ふちのべこども園
- ・ふちのべ美邦こども園
- ・たけのうちこども園
- ・もみじ保育園 上矢部
- ・神奈川県立相模原中央支援学校 (順不同)



※生活支援コーディネーターとは地域の高齢者支援の仕組みづくりや担い手の養成などを、様々な人と連携して行っていく調整役です。相模原市社協がおこなっております。



## 地区社協のイベント等について

中止になる可能性がありますので、あらかじめ事務局までお問い合わせください。

## 車いすの貸出【費用は無料】

貸出期間：約1週間  
※事前予約は下記お問い合わせまで。

